



北海道総合畜産共進会

第2部 1等1席 野田 定雄さん



▲第2部 1等1席「かつはや」

この共進会は生産農家の日頃の研鑽努力による改良成果が披露される場で、全道各地の予選を勝ち抜いた肉用牛が集結し、高いレベルで競い合いました。今金町より計7頭が出陳され、野田定雄さんの出陳牛「かつはや」が第2部において1等1席に、木島隆

音更町の十勝農協連家畜共進会場において9月6日・7日の2日間において、第16回北海道総合畜産共進会が開催されました。



▲第6部 1等2席「かなり」



▲第5部 1等2席「ゆに」

浩さんの出陳牛「ゆに」が第5部において1等2席、「かなり」が第6部において1等2席と非常に優秀な成績を収め、今金勢が大健闘しました。



▲新米初出荷の祝い酒の贈呈

9月10日、今金町玄米バラ集出荷調整施設への出荷が始まりました。今年最初の出荷となった生産者は鈴岡地区の吉本辰也さん、宝田地区の田畑大郁さんのお二人。品種は「ゆめぴりか」でした。初出荷を記念して式典が挙行され、祝い酒が生産者に贈られました。また、施設の従業員を対象に安全指導が行われ、作業の危険性について確認し、安全作業に努めるよう指導を受けました。



▲共選開始にあたり組合長より訓示

馬鈴薯共同選果場にて9月13日、「今金男しやく」の選別作業が始まりました。8月より続いていた不安定な天候による影響が心配されましたが、非常に良い品質・形状となっています。選果の稼働開始に際しては職員・作業員に対し訓示が述べられ、品質・規格などを確認する目揃え会を実施し、選別作業が開始されました。今年もホクホクした食感・甘みを味わえますので、是非とも今金男しやくを味わってみてください。





▲説明をする宇野支所長

J A今金町はJ Aグループ北海道改革プラン（たたき台）の組合員組織討議を8月30日、開催しました。組織討議には計74名が出席し、J A北海道中央会札幌支所長・宇野広勝氏、ホクレン函館支所長・福土正二郎氏、次長・保科友紀氏が同席しました。宇野支所長より内容説明が行われた後、「クミカン制度は営農をするために必要」、「協同組合の原点に戻って役割を果たしてほしい」など、出席した組合員からは多くの意見・質問が



▲部員の質問に回答する夏井氏

出ました。また、青年部員を対象としたJ Aグループ改革プランの説明会を9月9日、開催しました。当日はJ A北海道中央会札幌支所・夏井萌氏を講師に、改革プランについての説明や意見交換が行われました。普段なかなか中央会との意見交換をできないということもあり、青年部員からは改革プランについての質問だけでなく、様々な事について意見・質問を述べていました。



▲児童に説明する佐藤弘一さん

今金町内の小学校・中学校にて9月12日、今金産黒毛和牛を使った牛丼、今金産ミニトマトが学校給食として提供されました。この日は普段なかなか食べられる機会が少ない今金産黒毛和牛と一緒に食べる「今金産黒毛和牛を使った給食の日」として交流しました。J A今金町和牛生産改良組合長・佐藤弘一さんが小学校へ赴き、国産和牛の安全性や今金和牛についてPRしました。お話終了後、児童たちと一緒に給食



▲おいしそうに給食を食べる児童たち

をいただき、普段は口にすることのできない「今金産黒毛和牛」の牛丼をおいしそうに食べていました。今回交流給食で使用された非常に高価な黒毛和牛の購入にあたっては、J Aバンク教育活動助成事業（食育推進事業）から児童・生徒たちの食育の為に助成しています。J Aバンクは食育を応援します！

Next GENERATION

第34回

新時代の担い手たち

イマヌエル地区 須田 佑太さん〔23歳〕

(すだ ゆうた)

札幌大学卒 (就農1年目)

《経営作物》 水稻、馬鈴薯、大豆、小豆、そば

《家族構成》 須田 由美子 (母)・一由 (祖父)・節子 (祖母)

今金町を担う若者達を紹介するコーナー。第34回はイマヌエル地区の須田 佑太さんをご紹介します。須田さんは札幌大学を卒業後にすぐ就農され、今年で1年目になります。祖父母の下で農業について学び、様々な知識を吸収しています。趣味はフットサルと音楽。フットサルは函館のチームに所属して汗を流し、音楽はDJの練習を積んでいるそうです。そんな須田さんに色々なお話を伺いました！



《就農のきっかけは?》

祖父母が農家をやっているというところもあって、自分自身で美味しいものを作り、消費者の元に届けて食べてもらいたいと思い、就農することを決めました。

《農業を始めて感じることはありますか?》

何もかもが初めてなのでわからないことが多く、勉強の毎日です。不安なことはたくさんありますが、覚えることが楽しいです。いずれは自分が経営者になるので、自分のやり方でいいものが作れたらというワクワク感もあります。

《休日の過ごし方は?》

札幌の友達と遊びに行ったり、今金の友達と飲みに行ったりしています。

《今の生活はどうですか?》

7年ぶりの今金の実家暮らし、田舎ならではのいいところがたくさんあるし、今金の人たちとの交流が楽しく充実しています。

《今後の夢、またはどうしていきたいか?》

須田さんの作っているものは品質もいいし、味もおいしいと言われ続ける農家になりたいです。消費者にいいものを届けられる範囲で、手広く規模拡大もしていきたいと考えています。

《須田さんより一言》

就農一年目ということで、学ぶことがたくさんあると思います。どんどん勉強し、交流も深めていきたいので、仕事・プライベートの面でもよろしく願います。

取材にご協力いただきありがとうございました。わからないこともたくさんあると思いますが周りには頼りになる先輩たちがたくさんいます。積極的に知識を吸収し、将来の今金農業を背負って立つ一人として盛り上げていくことを期待しています！

～営農技術情報 2014 10月号～

今後の農作物管理

水稲 (早1日)

今年の出来はいかがでしたか？全般には5年連続の豊作となりましたが、夏のエルニーニョ予想、に危機感をもって取り組んだことが良い結果につながったものと考えています。さて、収穫も終わりほつとしたところですが、来期に向けての後始末もしっかり行いましょう。

先ずは、ほ場の乾燥化を促しましょう。

収穫作業で傷んだほ場の枕地や蹴(わだち)の表面水は溝切りを行い、ほ場外に排水しましょう。ほ場が乾燥している状態で心土破碎を施工し透水性を高めましょう。

稲わらの処理

「わら焼き」も許されない時代です。秋鋤込みを検討下さい。収穫後早めに鋤込み、腐熟を促すことがポイントです。そのため透排水改善です。尚、鋤込む場合はスタブルカルチなどによる「粗耕起」とし、ロータリー耕は避ける。

畦畔の補修も忘れずに

水田の土壌診断実施を

pHや燐酸及び塩基(石灰・苦土・加里)の他、ケイ酸や培養窒素の診断を行い施肥改善(土改材含む)に繋げましょう。

秋まき小麦

は種について

極端な遅まきは減収要因になるため、まだ終わっていない場合は早急には種するか春まき小麦の初冬播き及び翌春は種を検討しましょう。

雪腐病の防除を行いましょう

融雪の遅いほ場や滞水しやすいほ場では、特に雪腐病の発生が懸念されます。越冬前(根雪前)の防除や翌春の融雪剤散布等を実施しましょう。

大豆 (早4日)

天気を考慮し適期収穫を！ほ場の成熟期、子実水分を確認し、収穫前には汚粒防止のため、わい化病株や雑草を抜き取りましょう。

「コンバイン」収穫の目安

子実水分20%以下、茎水分40%以下。汚粒防止のため、収穫作業は晴天の日中に行う。

豆類

ダイズシストセンチュウの被害が発生したほ場では、次の豆類作付までの間隔をあける(大豆と小豆の連作も避けましょう)、クローバ類や抵抗性品種を導入するなど、センチュウ密度を減らす対策を検討しましょう。

てんさい (早7日)

集荷時期にあわせて、計画的に収穫しましょう。

ほ場が過湿状態で収穫行くと、土砂の混入が多くなるので注意しましょう。

次年度に向けたほ場づくり

茎葉は、収穫後できるだけ早くすき込みましょう。茎葉をすき込むことにより、次年度作物で減肥することが可能となります。

畑作物共通

次年度の作付に向けて、土壌診断を行いましょう。収穫が終わったほ場は、土壌(15×20cm)を採取しましょう。

pHの改善

作物の生育不良などは土壌の酸性化が原因の場合があります。

土壌診断値に基づき、秋のうちに炭カルなどで酸度矯正を行いましょう。

適正な施肥

ほ場における養分の蓄積状態とバランスを知り、作物にとって適正な養分状態に調整することが大切です。堆肥を定期的に投入しているほ場は、加里過剰になっている場合があります。加里成分を抑えた肥料を施用し効率的な施肥を計画しましょう。

ブロッコリー

下葉の葉縁がV字に黄変し、蔓延すると花蕾にも症状が拡大する「黒腐病」の発生が多くなる時期です。特に10月中旬下旬収穫作型の「スピードドーム」は本病が発生し易いため注意が必要です。「コサイド3000」等で予防的に防除を行いましょう。

だいこん・小かぶ

気温が下がる10月は、白さび病(ワッカ症)発生に注意が必要です。「ハチハチ乳剤」は、害虫防除と白さび病防除を同時に行えます。使用時期に注意し、適正に防除を行います。

ミニトマト

気温が下がる10月は、着色が遅くなることも裂果の発生が増えます。土壌水分の急変、ハウス内の過湿(特に早朝)により裂果の発生は助長されます。

明け方のハウス内は過湿状態になっており、モヤがかかっています。気温の低い朝でも一度モヤ抜きをし、除湿を行ってから日中の温度管理(20～25℃)を行いましょう。

夏が過ぎ、草勢が落ちると、うどんこ病の発生が心配されます。特に昨年発生したほ場では引き続き発生しやすいため注意し、「アフエットフロアブル」等により灰色かび病との同時防除を行います。

畜産

牧草 飼コーン (早4日)

貯蔵粗飼料の把握

粗飼料確保量の点検、粗飼料分析を実施しましょう。

今後、大雨や台風等により冠水や倒伏を受けた原料の場合は、サイレージの発酵品質を確認するとともに、必要に応じて給餌の際にカビ吸着剤の使用を検討してください。

石灰質資材の施用

草地は播種後年数が経つに従い、土壌の酸性化が進み、牧草の量が低下します。酸性化を防ぐために石灰質肥料を施用しましょう。施用の目安としては、2～3年毎に炭カル40kg/60kg程度を表面施用しましょう。

土壌分析をしましょう

来年の適正な施肥のため、土壌分析を行いましょう。計画的に毎年、何筆か調査し、植生改善のための施肥について検討しましょう。

維持草地：土壌の表面から5cmを10力所程度採土

草地更新：深さ15cmで5力所程度採土

飼料用とうもろこし：深さ30cmで5力所程度採土

飼養管理

分娩前後の飼養管理

肉用牛では濃厚飼料の増し飼いや、酪農では乾乳牛を前期と後期に分けた飼料給与により分娩後の経過を改善しましょう。

酪農では乳量・乳成分に注意し、乾物摂取量の確認を行い、ボディコンディションの回復を図りましょう。

初乳の給与

自然保育や人工保育の別に関わらず、牛舎環境改善(消毒や換気)を行い衛生的な環境を保つとともに、人工保育の場合は良質な初乳を十分給与しましょう。

(肉用牛) 子牛の発育改善

自然保育による子牛の発育は、生時体重や母牛の乳量が大きく影響します。生時体重を測定するとともに、子牛の吸乳行動や発育状況をよく観察し、交配計画や繁殖牛の保留の際の参考としましょう。

また、子牛の飼料摂取の競合を緩和するため、子牛の月齢に合わせた親子群分けを行います。さらに、温水給与などによる固形飼料摂取量を高める工夫を行い、子牛の発育改善を図りましょう。

テーマ 子牛の病気予防…ワクチンの話

朝・晩と冷え込む季節になってきました。すぐ近くに長い冬も待ち構えています。ヒトも風邪などで体調を崩しがちになるこの時期。子供たちは大人以上に必ずといって風邪をひいてしまうものです。もう少しすればインフルエンザの流行に向けてワクチン等の対策を耳にする機会も増えるでしょう。

ウシでも同じなのです。親牛に比べて、体の小さい子牛たちは寒さなど周囲の環境に大きく影響を受けて簡単に病気になってしまいます。一度病気になると、成長が滞り大きくなることができなくなります。子牛の病気には、主に下痢と肺炎があります。

こういった病気を予防することの基礎となるのが、まず子牛たちの体力を損なわないこと、そして、子牛の免疫機能の成長を助け、子牛たちの手持ちの免疫能力を最大限に発揮してもらうことです。

対策としては、量的に安定した良質なミルク等の餌を与えること、寒冷にさらされないようにすきま風を防ぐこと、乾燥した清潔な牛床をつくることなど、その他にも多くあります。こういった多くの注意点をすべてクリアすることは容易ではありません。

ヒトと異なり、ウシはどうしても糞尿にさらされる機会も多く、常に危険な感染源と隣り合わせの状態にあります。

免疫の話

子牛は生まれて母牛の初乳を十分に飲むことで病気と闘うための移行抗体を手に入れます。しかし、この移行抗体も生後1ヶ月齢を過ぎた頃から低下し、3ヶ月目には消失すると言われています。よって、1ヶ月齢からは自分自身の体力と抵抗力で身を守らなければいけなくなります。子牛は大きくなるにつれて、母牛が与えてくれた移行抗体ではなく、自分の体の中で自ら病気と闘うための抗体を作ることができるようになります。その能力は、およそ生後1ヶ月齢から発達し、生後5ヶ月齢に母牛なみの抗体生産が可能になるとされている。移行抗体が減ってしまうこと、子牛の抗体産生能力の成熟、病気にかかりやすい時期など、考慮したうえでワクチン接種を考える必要があります。



そこで病気を予防する上での、対策の一つとなるのが**ワクチン**です。

肺炎や下痢を予防するためのウイルスや細菌に対するワクチンは多く作られています。子牛に打つだけでなく、お産前の母牛に打つことで子牛を守るものもあります。基本的に筋肉注射するのですが、最近では感染源の侵入部位となる鼻粘膜に噴霧するタイプのワクチンが新しく作られています。

ワクチンを打てば必ずしも病気にならないというわけではないですし、与える餌や牛舎環境の改善などの対策をすることが第一になるとしたうえで、大切な子牛たちを病気から守る手助けとしてワクチンを効果的利用してみませんか。

各課職員の紹介

Vol. 4

4回目の各課職員の紹介は経済部 車両課・経済部 燃料課をご紹介します。JA今金町へお立ち寄りの際、または外勤の際はよろしくお願ひします。

経済部車両課



【1列目左より】 【2列目左より】 【3列目左より】

西田 光夫 課長補佐	原口 忠之 大東 健吾 長谷川ひろみ 道高 寿幸 係 長 田村 誠 係 長 坪井 靖	係 長 土橋 克二 高田 巧 下山佳津美 油谷 幸美 河野 有人 卒間 洋樹
白井 恭昭 車両課長 伊藤 幸浩 調査役 上田 訓夫 楠原 一晃 川上 侑佑		

経済部燃料課



【1列目左より】 【2列目左より】

石上 修一 杉本 祥子 燃料課長 湯元 則仁	渡部 峰徳 羽土 恭平 志賀 清和
---------------------------------	-------------------------



日本一の今金男しやくを 守りましょう！

～ジャガイモシストセンチュウの
拡散防止にご理解・ご協力下さい～

ジャガイモシストセンチュウの侵入・拡散を防ぐために

- ①ジャガイモシストセンチュウは、土に混じって侵入・拡散します。関係者以外は畑に入らないでください。もし入る場合は靴を必ず洗い、畑から出た後も必ず洗ってください。
- ②種芋や苗木、球根などを購入（ホームセンターなど）する場合、発生地域から知らずのうちに侵入させてしまうことのないようにお願いします。
- ③中古の農機具を購入した場合、必ず洗浄して土砂の付着が無いことを確認してから使用してください。
- ④魚釣りや山菜取りに出かける場合も畑に入らないように注意してください。

JAバンク 年金お受取 キャンペーン

2014.9/1月▶12/30火



年金お受取のお手伝いをします
全国どこでもお引き出せます

JAバンク年金お受取キャンペーンでは

- ◎年金のお受取口座をJAに指定していただく方に
- ◎すでにお受取の年金もJA口座にご変更いただいた方に
- ◎将来の年金のお受取口座をJAにご予約いただいた方に

**相田みつを
マグカップ&ミニタオル
プレゼント!**

マグカップ1枚と
ミニタオル1枚の
セット

JAはどなたでも

JAの年金受取はどなたでもご利用いただけます。JAとのお取引が初めてという方も、お気軽にご相談ください。

まずはお近くのJAへご相談ください!
JAバンク北海道 <http://www.jabank-hokkaido.or.jp>

年金友の会のご案内

当JAで年金をお受け取りされている方は「年金友の会」へ自動的に加入されます。年会費は無料で、好評のお花見旅行、夏季宿泊旅行、パークゴルフ大会など会員総合の親睦を深めるための活動を行っております。

また、年に1度の『友の会つどい』では町民センターにおいて歌謡ショーなどイベントも行っております。この機会にぜひご参加ください。

年金の受け取りはJAへ!

他の金融機関で年金をお受け取りの方
これから年金をお受け取りになる方

受け取り口座をJAに指定していただくと…
Aコープ商品券 **3,000円分** プレゼント!

■手続き方法はカンタン!
★基礎年金番号がわかるもの(年金の手紙・手帳・裁定請求書など)
★当JAの通帳・口座の印鑑

当JAに新たに年金を受給される方をご紹介していただくと…
Aコープ商品券 **1,000円分** プレゼント!

- ご紹介の流れ
- ①JA金融窓口にて「年金受給紹介カード」にお客様の名前、紹介者の方の名前を記入。
 - ②当JAより紹介者の方へ連絡をし、年金受給指定口座手続きを行います。
 - ③紹介者の方の年金受給を確認後、お客様へ連絡うえ、商品券をプレゼントいたします。
- ※ご紹介カードは年金受給希望される方が直接ご持参いただいても構いません。

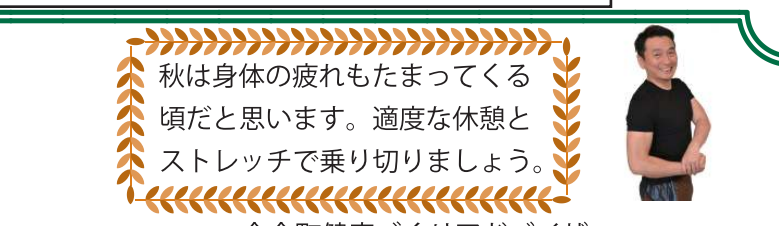
こちらのキャンペーン適用期間は
平成26年9月1日～平成27年3月31日まで

お問い合わせ先 JA今金町 貯金融資課 0137-82-0211

ワンポイント1分間運動 今月のテーマ～ペアストレッチ～ ＜農作業の前後にやってみましょう＞



農作業の前後に身体を伸ばすと、心身共にリフレッシュ!! 集中力も増して効率が上がりますよ。



今金町健康づくりアドバイザー
下メップ高台地区 岸徹也さん

気持ちの良い所で止めましょう



モデル：上稲穂地区 鎌田 孝俊・由美子
撮影協力：苅屋 泰裕